

建設物価 建設資材物価指数[®] 2025 年 7 月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は 2015 年平均を 100 として算出しています。

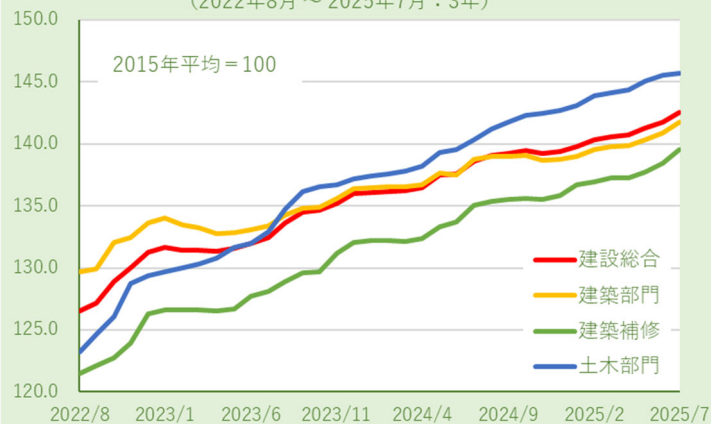
1. 指数の動向（全国平均）

2025 年 7 月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均) が **142.6** となり、前月比+0.5%(+0.8 ポイント)と **8 カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+2.8%(+3.9 ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が **141.7** となり、前月比+0.6%(+0.8 ポイント)と **8 カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+2.2%(+3.0 ポイント)となった。**建築補修**は **139.6** となり、前月比+0.8%(+1.2 ポイント)と **8 カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+3.3%(+4.5 ポイント)となった。**土木部門**は **145.7** となり、前月比+0.1%(+0.2 ポイント)と **2020 年 6 月以降 62 カ月連続の上昇**となり、最高値を更新した。前年同月比では+3.8%(+5.3 ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2022年8月～2025年7月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【窯業・土石製品】木質系セメント板

木質材料、セメントなどの原材料費や燃料費、人件費の高騰を要因とした値上げの一部が浸透し、プラス寄与

【金属製品】スチールドア

錠などの副資材費や輸送費の高騰を要因とした値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

【鉄鋼】異形棒鋼・H形鋼

需要減少による販売店間の受注競争の継続に伴い市況が続落し、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

上記の要因のほか、世界的な銅相場の上伸による電線・ケーブル類（非鉄金属）の値上がりなどが指数動向にプラス寄与した。

都市別に見ると【新潟】（前月比+0.8%）では、原材料費や輸送費、プラント維持費や人件費などの増加を背景とした生コンクリートの値上げが浸透し、指数動向のプラスに大きく寄与した。

【東京】（前月比+0.6%）では、製造コストの増加を背景としたコンクリート用骨材の値上げが、指数動向のプラスに寄与した。

同様に【名古屋】（前月比+0.6%）でも骨材の価格が上伸したほか、需要は盛り上がり欠けるものの、コスト増を背景とした販売店の粘り強い交渉により、構造用合板の値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与した。

各地の建設総合部門の指数【2025年7月分】

全国平均：142.6	新潟：139.3	札幌：145.8
前月比 +0.5%	前月比 +0.8%	前月比 +0.5%
前年同月比 +2.8%	前年同月比 +3.0%	前年同月比 +4.9%
広島：140.6	大阪：144.8	仙台：137.7
前月比 +0.5%	前月比 +0.5%	前月比 +0.5%
前年同月比 +3.0%	前年同月比 +2.0%	前年同月比 +2.4%
福岡：143.2		東京：143.0
前月比 +0.5%		前月比 +0.6%
前年同月比 +2.1%		前年同月比 +3.4%
那覇：140.5	高松：149.9	名古屋：142.9
前月比 +0.5%	前月比 +0.6%	前月比 +0.6%
前年同月比 +2.3%	前年同月比 +3.6%	前年同月比 +1.9%



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp